

日米投信概況

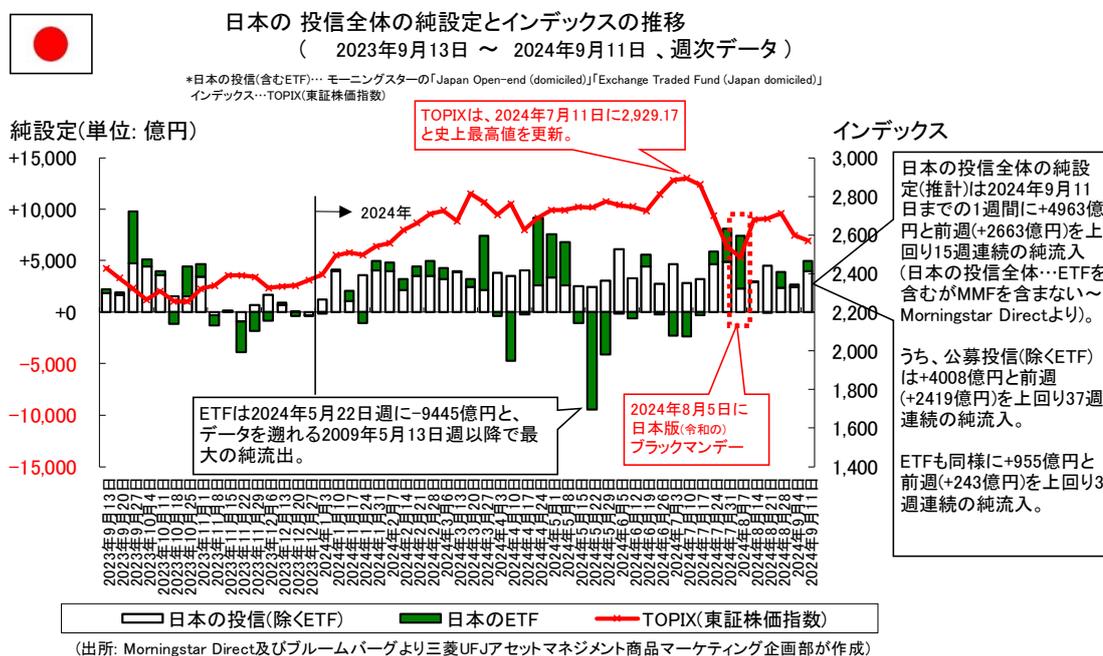
インド株ファンドが日本でも米国でも世界的に流入減速！ ～世界のインド株式ファンドの国籍別純資産・純設定推移～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufj.jp)
窪田真美 (mami1-kubota@am.mufj.jp)

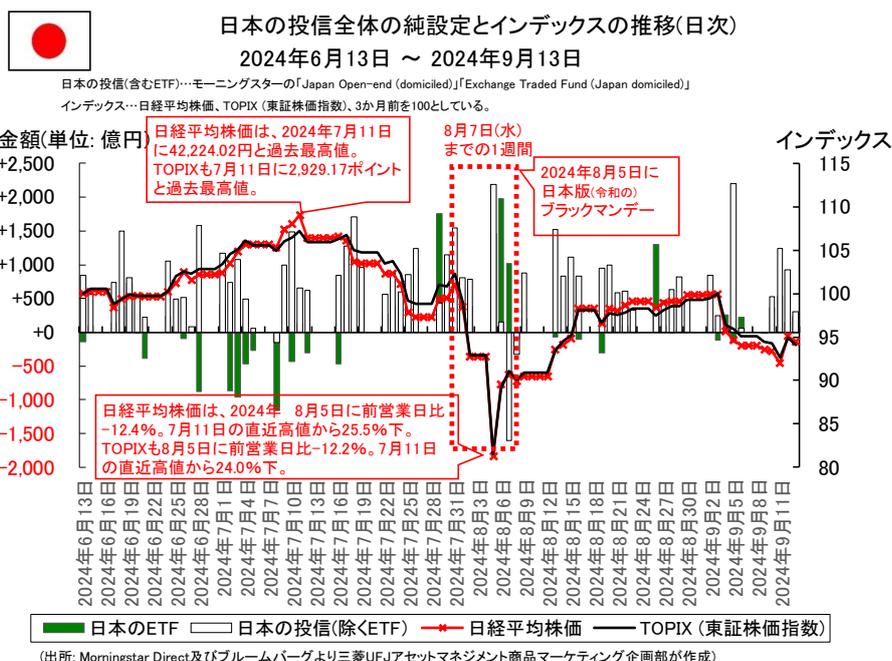
- 日本は日本版(令和)のブラックマンデー後すぐに純流入が復活！ ただ日本株は低調.....p.1
- 米国は債券に純流入加速、日本株・インド株純流出!! インド株は世界的に流入減速
～世界のインド株式ファンドの国籍別純資産・純設定推移～.....p.4

●日本は日本版(令和)のブラックマンデー後すぐに純流入が復活！ ただ日本株は低調

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年9月11日(水)までの1週間に+4,963億円と15週連続の純流入(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、公募投信(除くETF)は+4,008億円と前週(+2419億円)を上回り37週連続純流入(新NISAが始まった2024年1月来純流入)。ETFも+955億円と前週(+243億円)を上回り3週連続純流入。日本版(令和)のブラックマンデー(8月5日)を含む8月7日までの週は投信全体が+7,443億円の純流入で何も無かった様に見える(2024年9月2日付投信調査レポートNo.422「日本で日本版(令和)のブラックマンデーが何も無かった様に投信純流入！米国ではNYダウが最高値更新となる中、日本株に5週ぶり純流入！」～ https://www.am.mufj.co.jp/report/finvestigate/report_240902.pdf)。

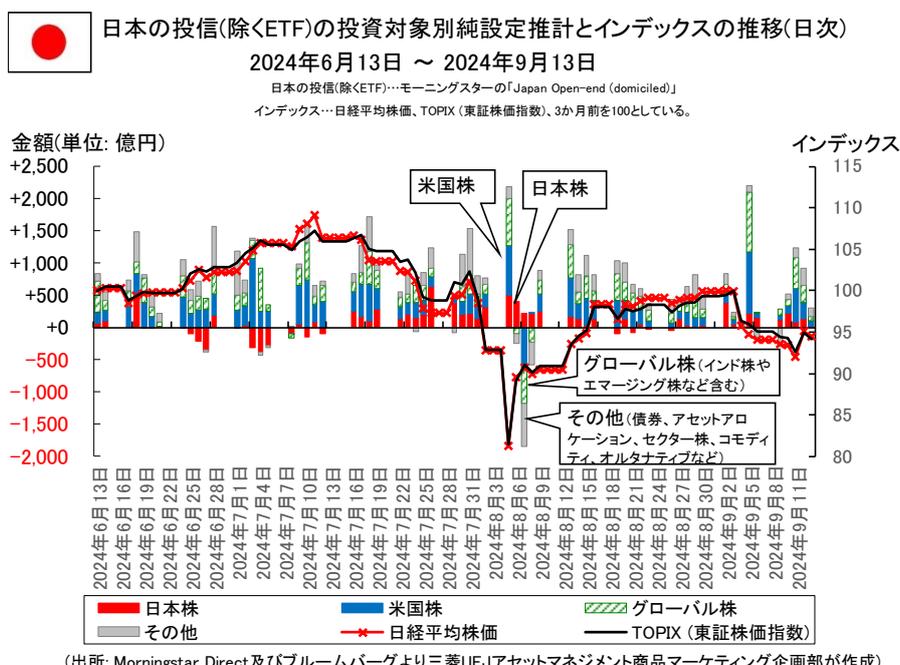


上記は週次で、日次で見ると、日経平均株価が前営業日比-12.40%と過去最大の下げ幅を記録した8月5日は+3,653億円、翌8月6日は+2,135億円、8月7日は-585億円、8月8日は-442億円となった(8月7日の純流出は8月5日に海外資産投資ファンドの解約申込をした人が多かった為～2024年8月13日付投信調査レポートNo.421「日本版ブラックマンデーで投信は2日連続解約超となった後、設定超に！日本株ファンド(除くETF)は19営業日連続設定超を更新中！米国ではハイテク株や日本株が解約超、インド株や公益株が設定超」～ https://www.am.mufj.co.jp/report/finvestigate/report_240813.pdf)。8月9日は+1,078億円の純流入であり、その後は純流入傾向となっている。9月5日には+2,038億円と8月6日来の+2,000億円台の純流入である。9月9日に-7億円の純流出(8月8日來純流出)となったものの、8月7日の-585億円や8月8日の-442億円に比べれば微々たるもの。その後は9月10日+892億円、9月11日+1,778億円、9月12日+1,082億円、9月13日+536億円と、純流入が続いている。



うち、公募投信(除くETF)は8月5日に+2,191億円、8月6日に+153億円、8月7日に**-1,609億円**となった後、8月8日に**-334億円**、8月9日は+880億円の純流入であり、その後は純流入傾向となっている。9月9日に**-3億円**の純流出(8月8日来純流出)となったものの(米国株やグローバル株、日本株は純流入～後述)、8月7日の-1,609億円や8月8日の-334億円に比べれば微々たるもの。その後は9月10日+527億円、9月11日+1,239億円、9月12日+925億円、9月13日+299億円と、純流入が続いている。

下記は投信(除くETF)の投資対象別純設定だが、8月7日中心に大きな純流出となった米国株やグローバル株も以前のように純流入傾向になっている事がわかる。ただ、7・8月に比較的大きな純流入だった日本株は8月19日に-93億円の純流出(7月12日来純流出)となり、その後も純流出となる日があった。



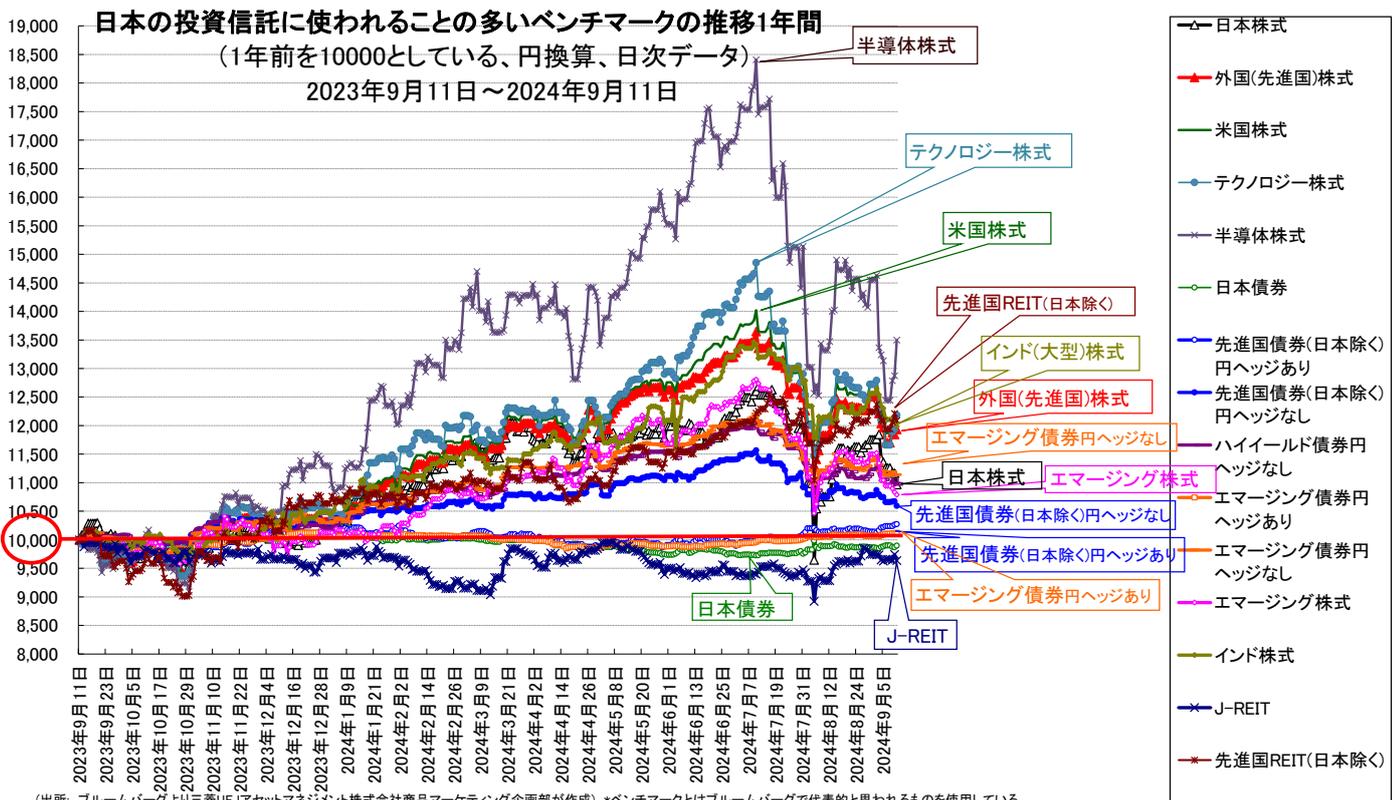
定例の公募投信(除くETF)の最新9月11日週の純設定額+4008億円について分類別に見る。純流入1～5位は北米株、グローバル株、日本株大型グロス、グローバル株-日本を除く、トレーディング-レバレッジド/インバース株。

日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2024-09-11現在
 *ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	North America Equity	+171,879	+44,804	+457,169	18,448,321	北米株
2	World Equity	+144,987	+43,715	+335,659	15,516,855	グローバル株
3	Japan Large-Cap Growth Equity	+68,334	-4,766	+51,161	5,727,213	日本株大型グロース
4	World ex-Japan Equity	+24,018	+28,515	+137,180	10,495,648	グローバル株-日本を除く
5	Trading - Leveraged/Inverse Equity	+14,418	-4,138	+6,126	583,777	トレーディング-レバレッジド/インバース株
6	Japan Large-Cap Blend Equity	+10,301	+4,941	+45,859	4,482,960	日本株大型ブレンド
7	Moderately Aggressive Allocation	+9,549	+10,415	+50,017	4,233,222	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
8	Moderate Allocation	+8,812	+8,378	+30,991	3,316,134	モデレート・アセットアロケーション
9	US REIT	+8,631	+2,523	+14,587	2,401,810	米国REIT
10	Japan Large-Cap Value Equity	+7,669	+5,262	+26,294	1,376,713	日本株大型バリュー
11	India Equity	+7,436	+11,247	+41,311	2,945,367	インド株
87	World REIT	-1,942	+2,134	+2,488	1,867,163	グローバルREIT
88	World High Yield Bond US	-1,972	+1,887	+1,770	1,362,055	米国ハイイールド債
89	Japan Money Market	-2,368	+138	-1,650	29,280	日本マネー
90	Risk Control Allocation	-2,854	-2,421	-9,424	1,223,445	リスク・コントロール・アセットアロケーション
91	Japan Small-/Mid-Cap Value Equity	-4,092	-1,343	-5,706	1,185,720	日本中小型バリュー株
92	Japan Bond - Long/Intermediate	-4,218	+5,346	+4,541	4,000,581	日本債-中長期
93	Japan Other Equity	-4,752	-574	-6,507	371,350	日本その他株
94	World Specialty Equity	-7,548	+4,869	+30,647	11,406,018	グローバル・特定テーマ/セクター株
95	Japan REIT	-21,625	-4,099	-36,123	2,208,531	日本REIT
96	Alt-Multistrategy	-25,090	+2,460	-11,989	805,317	オルタナティブ-マルチストラテジー
全96分類の合計		+400,758	+241,938	+1,332,010	123,324,612	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-3.90	-2.15	-1.96		
S&P500		+0.65	-1.26	+1.95		
MSCI ワールド		-0.01	-1.37	+1.76		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。



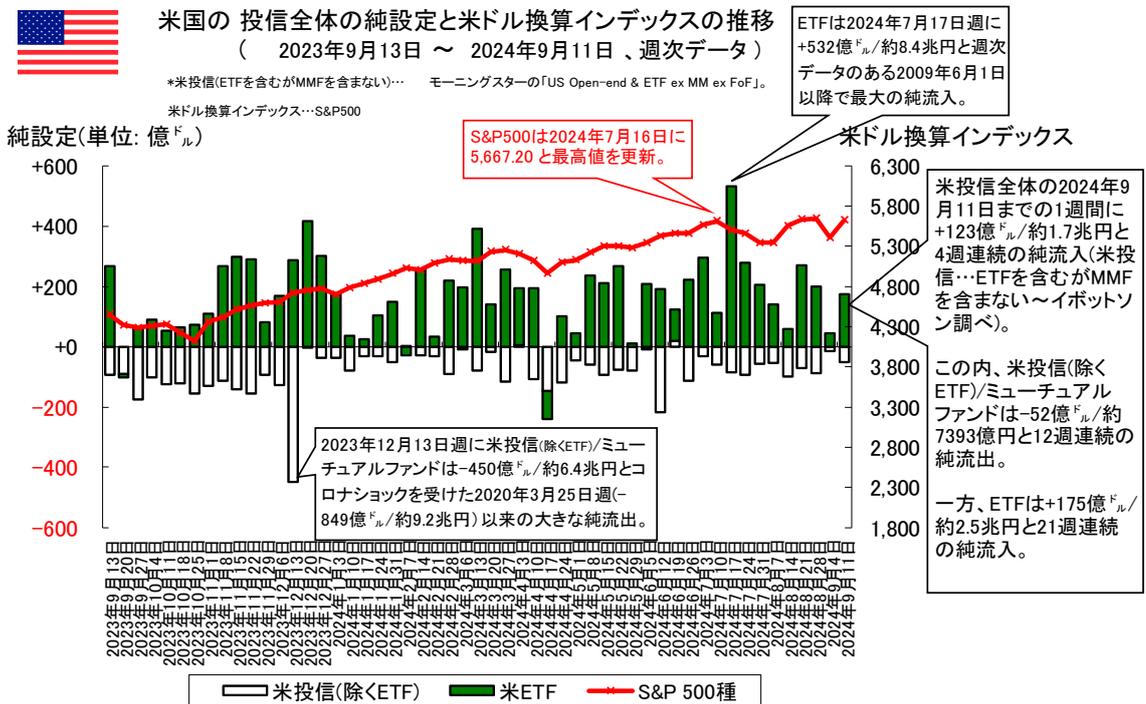
(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) *ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

●米国は債券に純流入加速、日本株・インド株純流出!! インド株は世界的に流入減速 ～世界のインド株式ファンドの国籍別純資産・純設定推移～

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年9月11日までの1週間に+123億ドル/約1.7兆円と4週連続純流入
(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-52億ドル/約7393億円と12週連続の純流出。一方、ETFは+175億ドル/約2.5兆円と21週連続の純流入となった(継続的なミューチュアルファンド

の純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」～ <https://www.am.mof.go.jp/press/infocolumn/211127.pdf>)o

NYダウは2024年8月30日に41,563.08米ドルと最高値を更新、2024年8月5日の直近安値(38,703.27米ドル～7月17日の直近高値41,198.08米ドルから-6.1%下)から+7.4%上(2024年9月16日に41,622.08米ドルと最高値更新)。S&P500は2024年8月30日に5,648.40と2024年7月16日來高値で8月5日につけた直近安値(5,186.33～7月16日の最高値5,667.20から-8.5%下)から+8.9%上。



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

その中、2024年9月11日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。**米国株は-6億ドルと2週連続の純流出。セクター株は-26億ドルと3週連続の純流出で加速、外国株は+33億ドルと9週ぶりの純流入。債券は+116億ドルと15週連続の純流入で加速傾向。オルタナティブは+8億ドルと2週ぶりの純流入、コモディティは+4億ドルと4週連続の純流入。**

投資対象をより細かく分類別に見る。**純流入1～3位は、外国株大型バリュー株、米国中長期コア債、米国超短期債。**一方、7月中頃まで流入の続いていたグロース株やハイテク株(米国テクノロジー株)は純流出が目立つ(下位10分類中5つ)。

「世界最大の資産運用会社ブラックロックがファンドのリスクを低減させている。米利下げサイクルの開始と米大統領選挙を控え、市場が混乱の『新局面』に突入しているとみているためだ。ブルームバーグが同社の投資見通しの内容を確認した。それによると、ブラックロックは米国株とグロース株の持ち分を減らす一方で、バリュー株と債券を選好している。」(2024年9月7日付ブルームバーグ「ブラックロックのETF間で巨額の資金動く、「新局面」でリスク低減」～ <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2024-09-06/SJEBZDWX3P80>)と報じられている。

米投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順)

2024-09-11現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

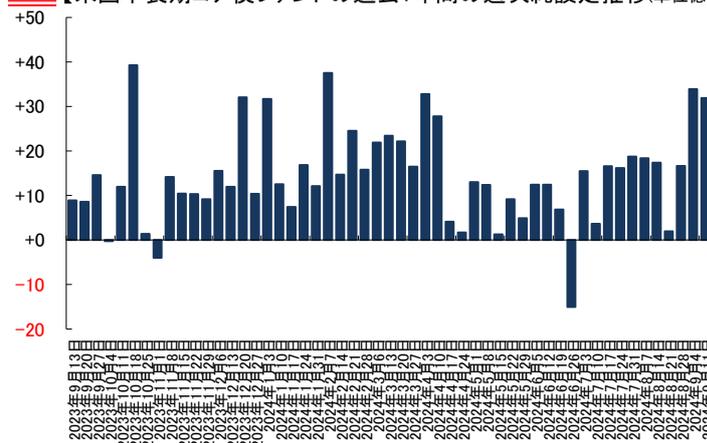
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 Foreign Large Value	+3,488	-218	+2,718	168,065	外国株大型バリュー株
	2 Intermediate Core Bond	+3,191	+3,392	+8,440	730,317	米国中長期コア債
	3 Ultrashort Bond	+2,815	-3,986	+4,495	324,543	米国超短期債
	4 Long Government	+2,290	+1,675	+5,235	153,667	米国長期国債(6年超)
	5 Large Value	+1,981	+858	+2,174	1,420,966	米国大型バリュー株
	6 Intermediate Core-Plus Bond	+1,748	+1,760	+4,309	623,234	米国中長期コアプラス債
	7 Multisector Bond	+1,503	+619	+3,297	147,690	マルチセクター債
	8 Foreign Large Blend	+1,171	-495	+1,972	1,012,157	外国大型ブレンド株
	9 Muni National Intern	+966	+536	+2,532	235,446	米国全米地方債
	10 Large Blend	+902	+2,745	+9,909	4,376,942	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
↓ 下位 10 分類	82 India Equity	-33	+19	+35	21,476	インド株
	113 Trading--Miscellaneous	-534	-53	-385	2,305	トレーディングその他
	114 Japan Stock	-650	-630	-1,497	35,541	日本株
	115 Mid-Cap Growth	-656	-570	-2,818	321,029	米国中型グロース株
	116 Industrials	-698	-40	-752	46,950	農業・インフラ・輸送等
	117 Foreign Large Growth	-743	-403	-1,847	386,245	外国株大型グロース株
	118 Technology	-874	-384	-361	341,615	米国テクノロジー株
	119 Small Growth	-921	-228	-1,761	184,578	米国小型グロース株
	120 Financial	-1,721	+426	+84	81,953	金融株
	121 Corporate Bond	-2,280	+1,845	+977	171,170	社債
	122 Large Growth	-2,734	-4,309	-4,827	2,097,249	米国大型グロース株
	全122分類の合計		+12,269	+3,118	+46,772	19,946,095
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-3.90	-2.15	-1.96		
S&P500		+0.65	-1.26	+1.95		
MSCI ワールド		-0.01	-1.37	+1.76		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

米国中長期コア債は最新9月11日週に+32億ドル/約4500億円と4月以来5か月ぶりの大きな純流入が2週連続となり、全122分類中2位(←前週1位)。

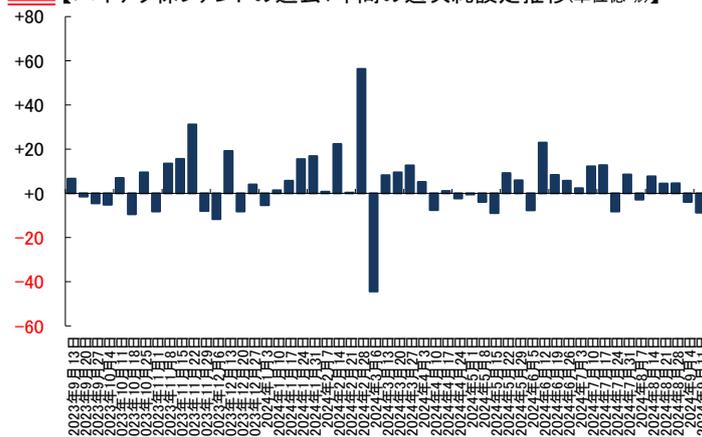
【米国中長期コア債ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

ハイテク株(米国テクノロジー株)は最新9月11日週に-9億ドル/約1231億円と2週連続の純流出となり、全122分類中118位(←前週110位)。

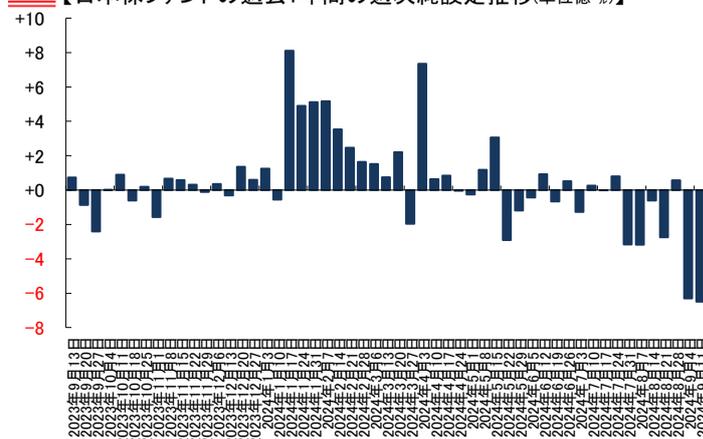
【ハイテク株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億^{ドル})】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

日本株は最新9月11日週に-6.5億^{ドル} / 約915億円と2週連続で、2021年11月3日週(-8.8億^{ドル})以来約3年弱ぶりの大きな純流出となり、全122分類中114位(←前週117位)。

【日本株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億^{ドル})】

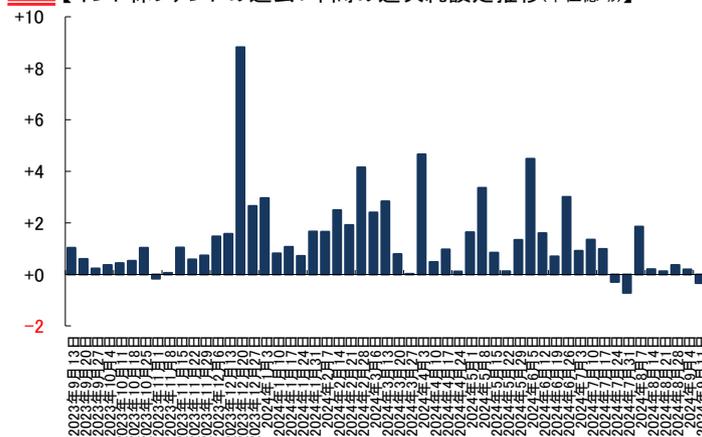


(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

インド株はインド(国内)への投資抑制要因となる上場株式のキャピタルゲイン税引き上げ、外国投資家に対する長期国債の投資制限が相次ぎ発表されている(2024年7月29日付投信調査レポートNo.419「インドがキャピタルゲイン税の引き上げ! インド株に投資するファンドの総経費率に注意! 米国で小型クロス

株が純流入」～ https://www.am.fj.com/report/fove/ligite/report_240728.pdf)。インド株は最新9月11日週に-3300万^{ドル} / 約47億円と小幅ながら6週ぶり純流出となり、全122分類中37位(←前週50位)。

【インド株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億^{ドル})】



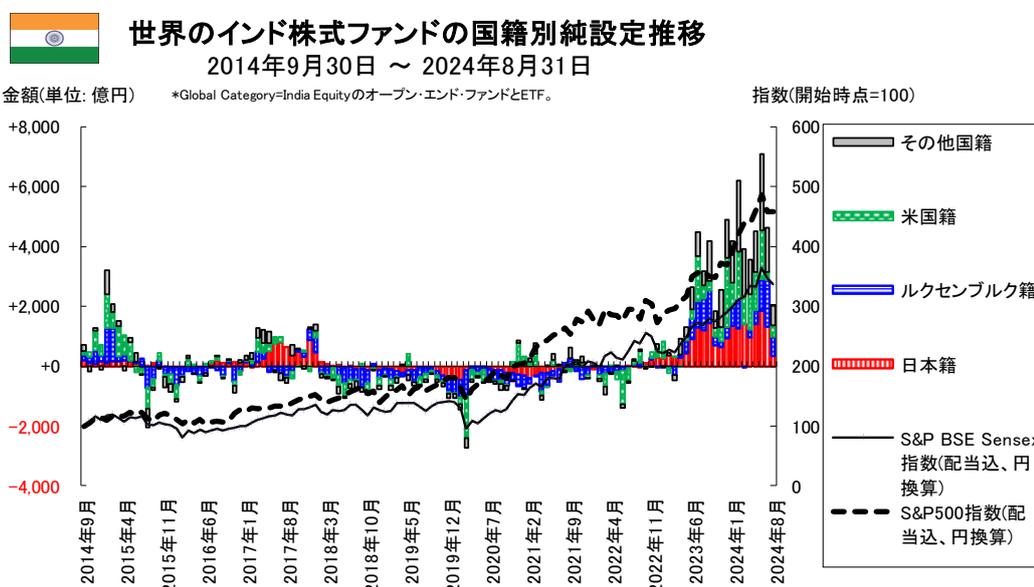
(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

日本籍投信のインド株ファンドも、8月に資金流入が急減と報じられていたが、9月に入ってからも減速傾向である。9月11日週に+74億円と、前週9月4日週(+112億円)や8月28日週(+118億円)から減少している。「インド株投信の資金流出額の推移を月次でさかのぼってみると、2022年の後半から徐々に資金流入が増加していた。インドの人口増加や持続的な経済発展などを受け、投資先としての注目度が高まってきたことが背景にある。今年1月に始まった新NISAでも人気の投資先のひとつになっている。…(略)…インドの代表的な株価指数の『ニフティ50』や『SENSEX』は8月の上半に一時的に大きく下落したが、後半には持ち直してそれぞれ史上最高値圏で推移している。ただ、7月上旬以降にインドの通貨ルピーが対円で大きく下落しており、円換算で評価する日本のインド株投信は足元でさえない値動きとなっている。現時点でインド株投信の8月の設定・解約の具体的な金額は不明だ。資金流入減速の主因が解約の増加だったかどうか、推測の域を出ない。ただ、これまで好成績が続いていただけに、利益が出ているうちに保有するインド株投信の売却に動いた投資家の一部にいた可能性はありそうだ。」

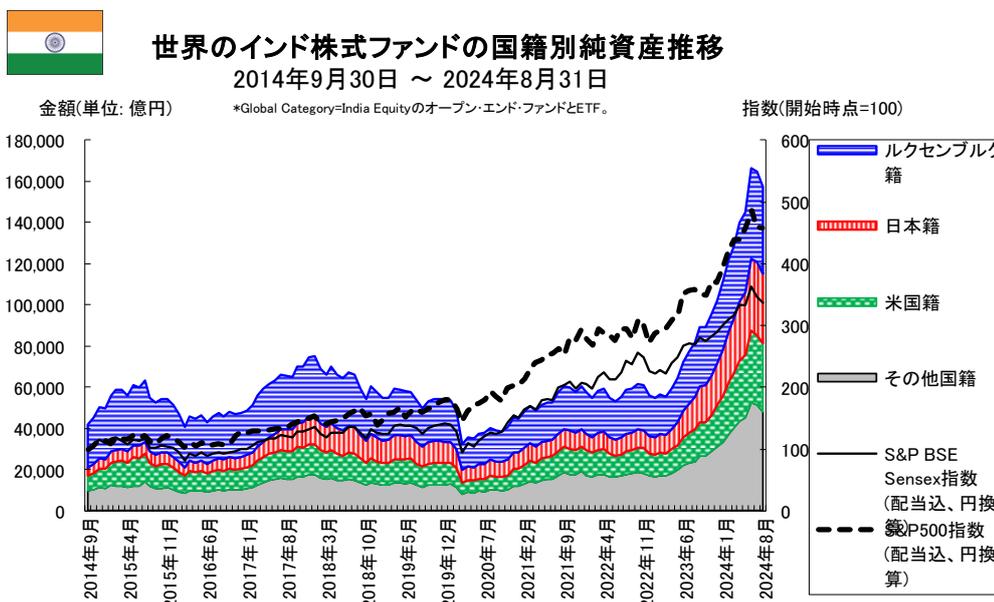
(強調下線は当レポート筆者、2024年9月4日付Quick MoneyWorld「インド株投信に解約急増? 8月の資金流入が減速」~ https://moneyworld.jp/news/05_011897_news)と報じられている。

最後に世界のインド株ファンド純設定/資金フロー(推計)についても見てみる。2024年6月の+7100億円をピークに、7月+4620億円、8月+2050億円と減速、昨年2023年10月(+1850億円)以来の低い水準である。日本籍や米国籍だけでなく、ルクセンブルク籍やその他(アイルランド籍など)いずれも、資金純流入が減少している(2024年5月13日付日本版ISAの道その

401「日米印株式ファンドの総経費率を日米比較!世界で人気のインド株ファンドはNISA本家英国でも人気だが、キャピタルゲイン税/CGTで総経費率が4~6%台?!」~ https://www.am.ami.f.jp/report/investigate/ohsum_240513.pdf)o



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会